



銘器の故郷を訪ねる

ヨーロッパ・ピアノの旅



Bösendorfer

C. BECHSTEIN

旅行期間：2026年9月13日（日）～9月20日（日）

滞在都市：ウィーン・プラハ・ドレスデン・ベルリン



ウィーン、プラハ、ドレスデン、ベルリンを巡る、ピアノをテーマとした新しい旅の提案です。
演奏家、指導者はもちろん、一般愛好家の皆様もどうぞご参加下さい。

《ツアー内容》

- ベーゼンドルファー、ペヒシュタインの製造工場を見学
- 2大銘器を使用した、久元祐子氏による参加者限定プライベートコンサート
- 各地の楽器博物館におけるセミナー開催
- ウィーン・ベルリンでのオペラ・コンサート鑑賞(OP)



同行ピアニスト：久元 祐子 Yuko Hisamoto



東京藝術大学卒業、同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ハイドン・フィルハーモニーなど内外のオーケストラと多数共演。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りベーゼンドルファー・アーティストの称号を授与される。2014年よりイタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。大阪・万博2025オープニング・セレモニーにおいてベーゼンドルファー「神奈川沖浪裏 / The Great Wave off Kanagawa (万博限定モデル)」のお披露目演奏を行い、オーストリア・ナショナルデーには、ファン・デア・ベレンオーストリア連邦大統領ご臨席のもと御前演奏。2016年～22年にかけてモーツァルト・ピアノソナタ全曲演奏会を開催。19世紀オリジナル楽器を愛用し、それら歴史的ピアノの演奏会や録音にも数多く取り組む。CD18作をリリースし、「ベートーヴェン：テレゼ、ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など絶賛される。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に『モーツァルトのピアノ音楽研究』（音楽之友社）、「作曲家が愛したピアノからアプローチする演奏法 ベートーヴェン」（学研プラス）など。PTNA 評議員、(一財)辻文化財団理事、国立音楽大学及び大学院特任教授。

■企画・主催

一般社団法人 国際親善音楽交流協会 (IGMEA)



■企画・協力

宮地楽器



■後援・協力

ベーゼンドルファー・ジャパン
ペヒシュタインジャパン
オーストリア政府観光局 / ウィーン市観光局
ドイツ政府観光局

■手配・実施(お申込み、お問合せ先)

株式会社 メット インターナショナル



(東京都知事登録旅行業第 3-8137 号)

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 1-3-18 ビラ・モデルナ C-105

TEL: 03-3406-1102 FAX: 03-3406-1103

E-Mail: info@met-inter.com (担当:岩本)

※ツアーご参加をご検討の方には、詳しいパンフレットを送付させていただきます。